

# 漁業情報システムを活用した漁業の効率化について

鹿児島県水産技術開発センター 企画研修部 久田安秀

## 1 漁業情報システム開発の目的

水産技術開発センターでは県内の漁業者に対して最新の漁業情報を提供するためにリアルタイムに漁海況情報や赤潮情報を収集・解析する漁業情報システムを開発し運用しています。

漁業情報システムでは近年の情報通信技術の進展に対応して、最新の情報機器等を整備するとともに利用者が利用しやすい情報提供を目指しています。

## 2 漁業情報システムの概要

### (1) 漁海況情報システム

①衛星情報システム：気象衛星NOAAをはじめとした人工衛星からのデータを自動的に受信解析し情報提供します。

②水揚・市況情報システム：県内の主要な漁協や市場から水揚げデータ収集しデータベース化するとともに解析結果を情報提供します。

③フェリー情報システム：沖縄航路（フェリークイーンコーラル8及びなみのうえ）及び甬島航路（フェリーニューこしき）の水温や潮流情報等を収集解析し情報提供します。

④浮魚礁情報システム：下甬島沖浮魚礁からの2時間おきの水温や風向・風速を情報提供します。

### (2) 赤潮情報システム

水産技術開発センターが行う赤潮調査や漁場環境調査結果をリアルタイムに携帯電話を中心に情報提供します。また、過去の赤潮調査結果や漁場環境データをデータベース化し解析できるようにします。

### (3) 魚病情報システム

ワクチン指導書の発行をインターネットから行うようにしていきます。また、魚病カルテデータなどをデータベース化し広域的な魚病発生状況の解析を行うことが出来るようにします。

### (4) 地理情報システム

水産技術開発センターがこれまで調査してきた漁業用海底地形図，魚礁配置図，藻場分布図，航空写真等を地理情報システムに登録し研究用の解析や情報提供が出来るようにします。

### (5) 漁船通信システム

漁業情報システムで提供する人工衛星やフェリー，浮魚礁等からの海洋環境情報と海底地形図や魚礁配置図等の地図情報をあらかじめ利用登録を行った漁業者の方がインターネットから双方向に情報を利用できるシステムです。

## (6) 試験研究情報システム

試験研究情報等を研究員間で共有し、業務の効率化を図ります。

## 3 漁業情報システムの利用方法

### (1) パソコン

◆ホームページ <http://kagoshima.suigi.jp/> : 漁海況情報や赤潮情報、試験研究情報を中心に情報提供しています。

◆漁船漁業対象 <http://gyosen.suigi.jp/> : ユーザー名とパスワードを入力して漁業用海底図等の地図情報や気象情報の他、操業情報の解析を行う機能を利用することができます。

◆養殖業対象 <http://youshoku.suigi.jp/> : ユーザー名とパスワードを入力してワクチン利用申請や赤潮・魚病等の画像診断の申し込みを行うことができます。

### (2) 携帯電話

携帯電話からのインターネット接続により衛星情報、フェリー情報、下甌島沖浮魚礁情報、赤潮情報等をご覧いただくことができます。

◆携帯電話用 <http://kagoshima.suigi.jp/i/>

また、これまでどおり、下甌島浮魚礁の2時間おきの水温、風向・風速の情報を音声により利用することができます。

◆電話番号 0993-27-9233

### (3) ファックス

お手元のファックス機から各情報ごとの電話番号を入力しガイダンスに従って操作することにより衛星情報や漁海況週報、赤潮情報等を入手することができます。

◆衛星画像 0993-27-9234

◆漁海況週報 0993-27-9235

◆赤潮・魚病情報 0993-27-9236

### (4) 携帯端末

持ち運びが便利で安価な携帯端末により漁業の現場から漁業情報システムを利用することが出来ます。

## 4 漁業情報システムの研修

水技センターでは県内の漁業者の方がパソコンを活用して漁業情報システムを利用したり漁家経営に役立てることができるように、パソコン研修室を整備しています。

ここでは14台のパソコンを用いてパソコンの基礎的な使い方や漁業情報システムの利用方法、漁家経営用の簿記ソフトの研修を受けることができます。